

マリンレジャーに関する安全情報など様々な情報をお届けします！

## 海の事故情報 3 月中のマリンレジャーに伴う海難発生状況

### プレジャーボートの海難

【機関故障】3 月 23 日、岩手県広田半島の沖で釣りをしていたプレジャーボート（1.5 トン、1 名乗船）が、航行しようとしたところ、突然船外機のエンジンが停止し、始動できなくなりました。乗船者は近くの養殖施設に船を係留の上、118 番通報して海上保安庁に救助を求め、間もなく気仙沼海上保安署所属の巡視艇により無事曳航救助されました。原因は、燃料フィルターの詰まりによるものでした。



発航前には燃料量や燃料フィルターの詰まりの有無、エンジンオイル量、バッテリー電圧などを点検しましょう。定期点検や整備を励行して、消耗品類はメーカーが推奨する期間内に交換しましょう。

## ワンポイント講座 『船外機の手入れ』

取り付けや取り外し、使用方法も比較的簡単で、プレジャーボートでも多く使用されている船外機。片手で持つことができる小型のものから、人力では持ち上げられない大型のものまで、大きさの種類も豊富ですが、常にトラブルなしで使うためには、いずれも日ごろのメンテナンスが大切です。定期的にチェックを行い、消耗品類は早めに交換しましょう。冷却水系には、海水中の塩分やカルシウムが付着して錆や詰まりの原因になります。使用後は、冷却水系を真水で洗浄するよう心がけましょう。

### 燃料系のチェックポイント

- ・ 燃料タンク内の錆の有無（金属製タンク）
- ・ 燃料ホースやプライマリーポンプのひび割れ、ホースの接合部等からの燃料漏れの有無
- ・ 燃料フィルター内のごみ、錆、水分の有無
- ・ 燃料フィルターの交換時期

### 冷却水系のチェックポイント

- ・ 冷却水の排出状況（検水口から排出される冷却水の勢いが弱い場合は、インペラの磨耗や冷却水経路の詰まり等が疑われます）

### エンジンオイルのチェックポイント

- ・ エンジンオイルの量や汚れ具合



- ・エンジンオイルやフィルターの交換時期

## 海難防止活動 『GW期間中のマリレジャー安全推進活動』



釣り人への安全指導の様子

海上保安庁では、例年マリレジャー活動が活発になるゴールデンウィーク期間中の海難や人身事故を防止するため、レジャーボートや釣り人に対する集中的な指導啓発活動を実施しています。主な指導事項は、次のとおりです。

小型船舶操縦者の遵守事項に対する指導（発航前点検や適切な見張り、海中転落に備えたライフジャケット着用等の遵守事項に従った運航など）

水上バイク及びミニボートに対する安全指導（基本的な海上交通ルール・マナーの習得、ミニボートの転覆防止のための注意事項の遵守など）

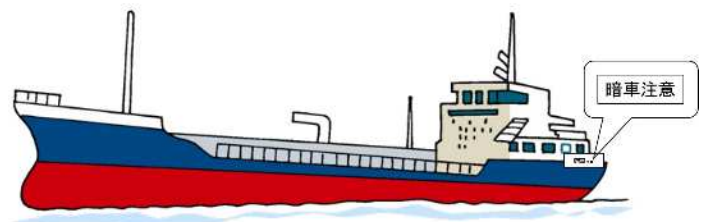
釣り中の海中転落事故防止（気象・海象の早期把握、複数名行動の励行、自己救命策の確保など）

## 海の言葉 海や船に関する用語について解説します。『スクリュープロペラ』

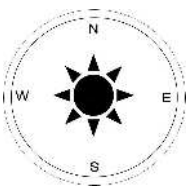
スクリュープロペラ（screw propeller）は船の推進器の一種で、日本語では「ら旋式推進器」または「暗車」といいます。小型船ではプロペラ羽根のねじれ角（ピッチ）が一定で、回転数を変えてスピードを調整する「固定ピッチプロペラ」が一般的ですが、大型船では回転数を一定に保ち、プロペラ羽根のねじれ角を変化させてスピードを調整する可変ピッチプロペラも使われています。

「暗車」という呼び名は、昔の外輪船（外車船）の水車型の推進器が外（水面上）に出ているために「外車」と呼んだのに対して、スクリュープロペラが水面下に隠れていることから「暗車」と呼ばれるようになったと言われています。

大型船の船尾付近には、港内の小型船などに対して、水面下のスクリュープロペラを回転させた際に発生する水流への注意を促すため、「暗車注意」などと表示されています。



## 羅針盤 編集担当者の四方山話的コラムです。『震災と航路標識』



東日本大震災から3年が過ぎ、被害を受けた太平洋岸の港湾や漁港の復旧工事が盛んに行われています。海上保安庁が保守・管理している灯台や灯浮標などの航路標識も倒壊や流出などの被害を受け、今も復旧作業が続けられています。

先日、福島県いわき市にある「塩屋埼灯台」の一般参観が再開されました。震災で被害を受けた灯台の灯火は平成23年11月に復旧しましたが、灯台までの通行路などにも大きな被害を受けたため大規模な復旧工事が行われ、これまで一般の方の参観ができなかったものです。

大型の灯台は海岸の高台に建てられているものが多く、眺望が良いため、車で直近まで行けるようなアクセスが良い灯台は、地域の観光拠点になっているものも少なくありません。また、このような灯台は、地域のシンボリックな存在にもなっています。



以前と同じ姿を取り戻した塩屋埼灯台に多くの観光客が訪れ、被災地の復興に少しでも貢献できるよう心から願っています。

## 大切な命! 自分で守る

海上保安庁では、大切な命を自分で守るため、そして、一人でも多くの人を救助できるよう、次の3つを基本とする「自己救命策確保」を推進しています。



ライフジャケット  
の常時着用



携帯電話など  
の連絡手段の  
確保



救助要請  
は118番

海のもしもは!  
**118**

本紙を印刷物でご覧の方へ

マリレ情報よろず屋をホームページからご覧になる場合は、次のURLから! 「マリレよろず屋」で検索してもヒットします!

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/index.htm>

マリレよろず屋

で

検索

